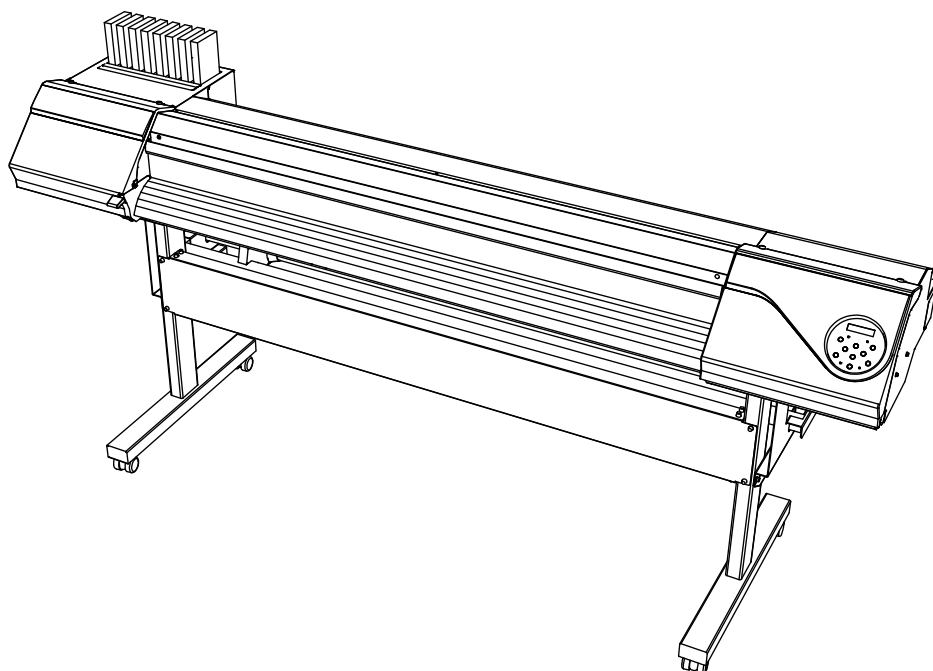
VS-640 VS-420
VS-540 VS-300

セットアップガイド

はじめにお読みください

本機を使えるようにするための準備作業や、守っていただきたい設置場所の条件について説明しています。

Roland DG Corporation

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

○本製品を、正しく安全にご使用いただくため、また性能を十分理解していただくために、この取扱説明書を必ずお読みいただき、大切に保管してください。
○本書の内容の一部または全部を、無断で複写・複製することはできません。
○本製品の仕様ならびに本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
○本製品および本書の内容について、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら、当社あてにご連絡ください。
○本製品の故障の有無にかかわらず、本製品をお使いいただいたことによって生じた直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
○本製品により作られた製作物に対して生じた、直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

目次

本書は VS-640/540/420/300 共通のセットアップガイドです。機種を区別する必要がある場合、本書内では各機種を次のように表記しています。

VS-640 ・・・ 64 インチモデル
VS-540 ・・・ 54 インチモデル
VS-420 ・・・ 42 インチモデル
VS-300 ・・・ 30 インチモデル

また、本書内のイラストはおもに VS-640 のものを使用しています。

http://www.rolanddg.co.jp/

⚠安全にお使いいただくために

本機の取り扱いによっては、人に危害が及んだり、ものに損害を与えたりすることがあります。これらを未然に防ぐため必ず守っていただきたいことを、次のように説明しています。

⚠警告 と ⚠注意 の意味

⚠警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
⚠注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。 * 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。

図記号の例

	△は、注意 (危険、警告を含む) を表しています。 具体的な禁止内容は、△の中に描かれています。 左図の場合は、「感電注意」を表しています。
	⃠は、禁止 (してはいけないこと) を表しています。 具体的な禁止内容は、⃠の中に描かれています。 左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は、強制 (必ずすること) を表しています。 具体的な強制内容は、●の中に描かれています。 左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜け」を表しています。

⚠正しく操作しないとけがをします

⚠警告

この説明書の操作手順を必ず守る。取り扱い方法を知らない人にはさわらせない。
取り扱いを誤ると、思わぬ事故の原因になります。

子供を近づけない。
子供にとって危険な場所や部品があり、けが、失明、窒息など重大な事故の恐れがあります。

酒や薬を飲んでいるときや、疲れているときは、作業しない。
適切な判断を要する作業があります。判断力が鈍ると、思わぬ事故の原因になります。

用途以外の使い方や、能力を超える無理な使い方をしない。
けがや火災の原因になります。

アクセサリ類（オプション品、消耗品、電源コードなど）は、本機に適合する純正品を使用する。
適合しないものは、思わぬ事故の原因になります。

清掃、メンテナンス、オプション品の着脱をするときは、電源コードを抜く。
通電したままでは、けがや感電の恐れがあります。

分解、修理、改造をしない。
火災、感電、けがの原因になります。修理は、専門のサービスマンにお任せください。

⚠注意

はさみ込みや巻き込みに注意。
うっかりさわると、手がはさまれたり巻き込まれる場所があります。注意して作業してください。

ネクタイ、ネックレス、だぶだぶの服を着けて作業しない。長い髪はきちんと結ぶ。
機械に巻き込まれ、けがをすることがあります。

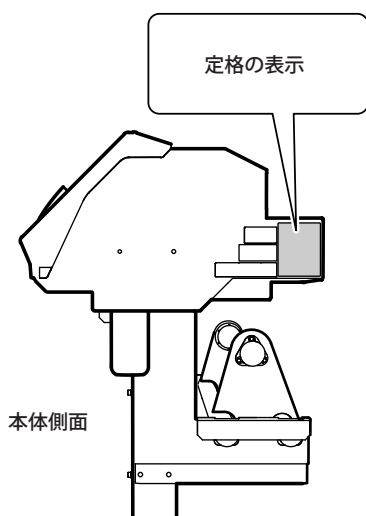
きれいに片づけられた、明るい場所で作業する。
暗く散らかった場所は、つまずいた拍子に機械に巻き込まれるなど、思わぬ事故の原因になります。

本機に乗ったり、寄りかかったりしない。
人が乗るようには作られていません。部品が外れて転落する恐れがあります。

カッターに注意。
本機はカッターを内蔵しています。カッターを取り扱うときは、けがに注意してください。

⚠ ショート、感電、火災の恐れがあります

⚠警告

本機の定格（電圧、周波数、電流）に適合するコンセントに接続する。
電圧が違ったり、電流に余裕がないと、火災や感電につながります。

屋外、水のかかる場所、湿気の多い場所では使わない。ぬれた手で触らない。
火災や感電の恐れがあります。

内部に異物を入れない。液体をこぼさない。
通気口からコインやマッチを差し込んだり、飲み物をこぼすと、火災や感電の原因になります。もし内部に入ってしまった場合は、すぐに電源コードを抜き、当社コールセンターまでご連絡ください。

近くに燃えやすいものを置かない。近くで可燃性スプレーを使わない。ガスの充満する場所では使わない。
引火や爆発の恐れがあります。

⚠警告

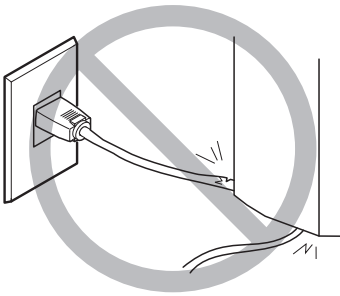
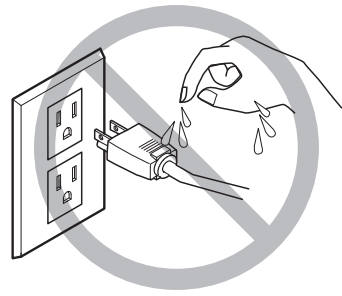
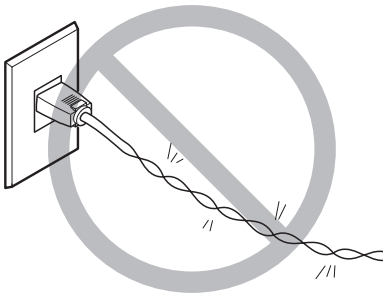
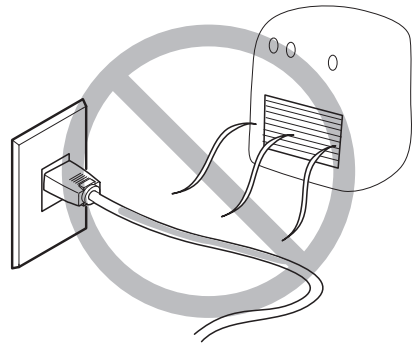
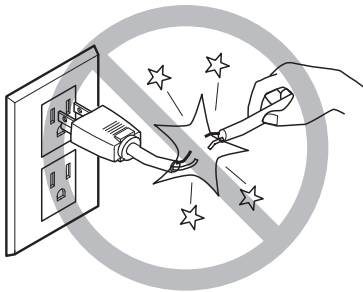
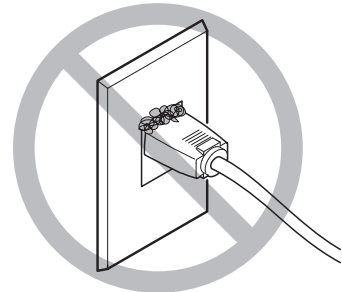
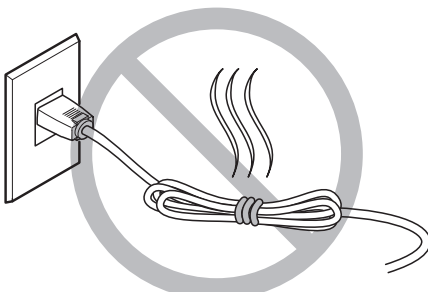
電源コード、プラグ、コンセントは、正しくていねいに取り扱う。傷んだものは使わない。
傷んだものは、火災や感電の原因になります。

延長コードやテーブルタップは、本機の定格（電圧、周波数、電流）より余裕のあるものを使う。
たこ足配線や長い延長コードは、火災の原因になります。

アースに接続する。
万一の故障で漏電したときに、火災や感電にいたるのを防ぎます。

電源プラグにいつでもすぐ手が届くようにしておく。
緊急時にすばやく電源プラグを抜くためです。コンセントのそばに機器を設置してください。また、コンセントにすぐ近づけるだけのスペースを空けてください。

火花、煙、こげた臭い、異音、異常な動作が発生したら、すぐに電源プラグを抜く。部品が損傷している場合は使用しない。
そのまま使うと、火災、感電、けがの恐れがあります。当社コールセンターへご連絡ください。

⚠電源コード、プラグ、コンセントのご注意

物をのせない、傷つけない

ぬらさない

無理に曲げない、ねじらない

熱を加えない

無理に引っぱらない

ほこりは火災のもと

束ねない、巻かない

⚠インク、洗浄液、廃液は引火します／人体に害があります

⚠警告

作業場所に火気を持ち込まない。
インクや廃液に引火する恐れがあります。

インク、洗浄液、廃液は、次の場所に保管しない。
○ 火気のある場所
○ 高温になる場所
○ 漂白剤などの酸化剤、爆発物のそば
○ 子供の手の届く場所
火災の恐れがあります。子供が誤って飲むと、健康障害の恐れがあります。

インクカートリッジを火の中に投げ入れない。
インクが流れ出て燃え広がり、近くのものに燃え移る恐れがあります。

インク、洗浄液、廃液は、目に入れたり、皮膚に付けたり、飲んだり、臭いをわざと吸い込んだりしない。
健康を害する恐れがあります。

⚠注意

作業場所は、換気する。
換気しないと、インクの臭いで健康を害したり、引火する恐れがあります。

インクカートリッジに衝撃を与えたり、分解したりしない。
インクが漏れ出すことがあります。

⚠飲んだり、気分が悪くなったりしたときは

○ 目に入ったときは、すぐに水で 15 分間以上洗い流す。目の刺激が続くときは、医師の診断を受ける。
○ 皮膚についたときは、すぐに石けんで洗う。刺激を感じたり炎症になりそうなときは、医師の診断を受ける。
○ 飲んだときは、無理に吐かせようとせず、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐かせようとすると、かえって窒息の危険がある。
○ 気分が悪くなったときは、空気のきれいな場所で安静にする。めまいや吐き気が続くときには医師の診断を受ける。

⚠ 本機は 200 kg あります。メディアは 40 kg あります

⚠ 警告

水平で安定した、本機の重量に耐えられる場所に設置する。

本機の総重量は 200 kg 以上に達します（54 インチモデル は 170 kg、42 インチモデルは 150kg、30 インチモデルは 130 kg）。適さない場所では、転倒、転落、崩落など重大な事故の恐れがあります。

積み卸しや据え付けの作業は、6 人 (30 インチモデルは 4 人) 以上で行う。

少人数での無理な作業は、身体を痛めます。もし落下すると、けがの原因になります。

⚠ 警告

スタンドのキャスターは必ずロックする。

もしも転がりだすと、身体が押しつぶされるなどの重大な事故につながります。

ロールメディアの保管には、転がったり、落ちたり、倒れたりしないよう、十分な安全対策をとる。

メディアの下敷きになって大けがをする恐れがあります。

ロールメディアを取り扱うときは、2 人以上で持ち、落下に十分注意する。

重いメディアを無理に持ち上げようとすると、身体を痛めます。もし落下すると、けがの原因になります。

⚠ 火災、やけど、有害ガス発生の恐れがあります

⚠ 警告

高温注意。

ドライヤーなど熱くなる場所があります。火災ややけどに注意してください。

印刷していないときは、メディアを外すか、電源をオフにする。

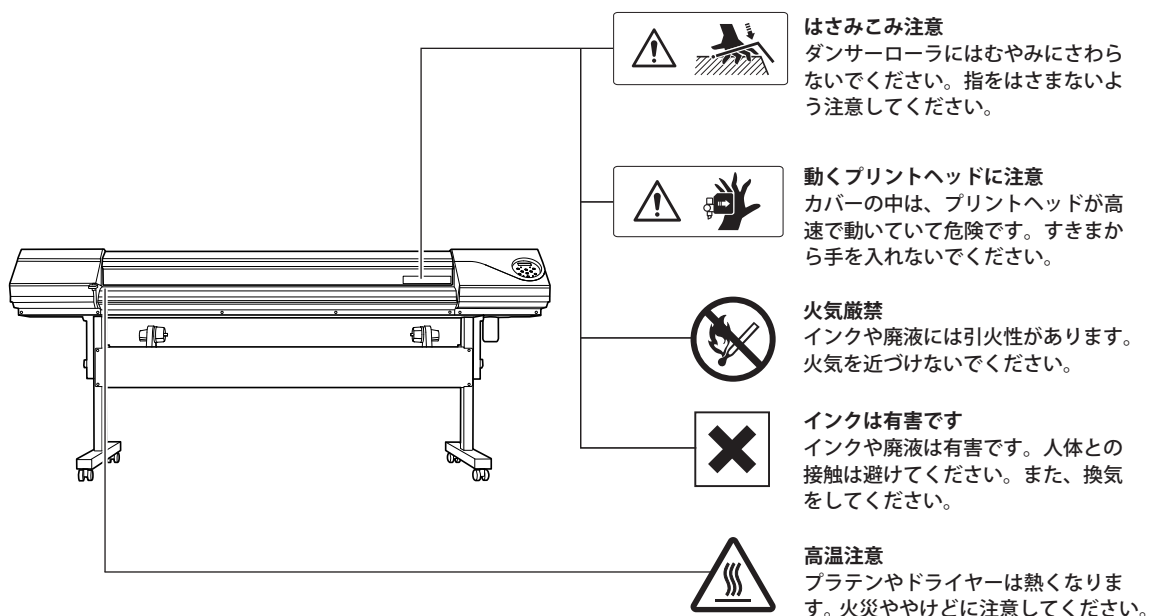
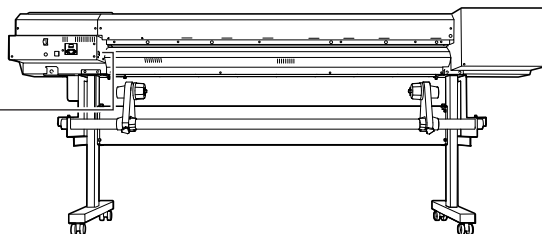
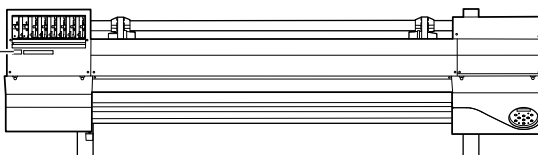
同じ場所を熱し続けると、メディアから有害ガスが出たり、発火する恐れがあります。

⚠ 警告

熱に耐えられないメディアは使わない。

メディアが変質したり、火災や有害ガス発生の恐れがあります。

⚠ 警告ラベルについて

危険な場所がすぐわかるように、警告ラベルをはってあります。ラベルの意味は次の通りですので、必ずお守りください。また、ラベルをはがしたり汚したりしないでください。

セットアップガイド

1. 設置環境について

設置場所を決めるには

静かで安定している条件のよい場所に設置してください。不適切な場所は、事故や火災のもとになったり、誤動作や故障の原因になったりします。

⚠警告 **水平で安定した、本機の重量に耐えられる場所に設置する。**
本機の総重量は 200kg（50 インチモデル は 170 kg、42 インチモデルは 150kg、30 インチモデルは 130 kg）以上に達します。適さない場所では、転倒、転落、崩落など重大な事故の恐れがあります。

⚠警告 **屋外、水のかかる場所、湿気の多い場所には設置しない。**
漏電によって感電したり、引火して火災になったりすることがあります。

⚠警告 **燃えやすいものの近くや、ガスの充満する場所には設置しない。**
引火や爆発の恐れがあります。

⚠警告 **きれいに片づけられた、明るい場所に設置する。**
暗く散らかった場所は、つまずいた拍子に機械に巻き込まれるなど、思わぬ事故の原因になります。

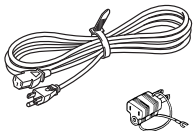
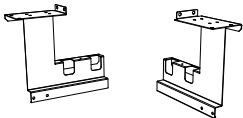
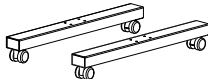
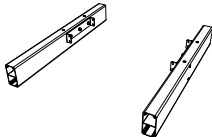
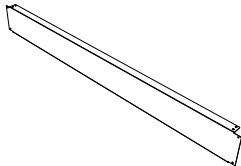
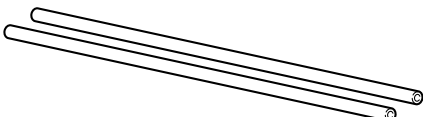
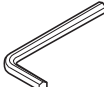
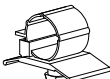
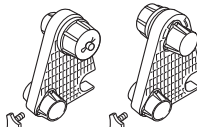
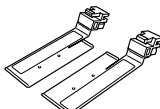
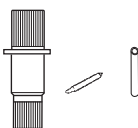
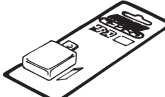
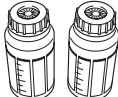
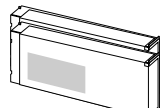
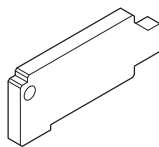
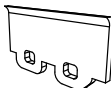
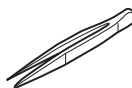
⚠警告 **電源プラグにいつでもすぐ手が届くようにしておく。**
緊急時にすばやく電源プラグを抜くためです。コンセントのそばに機器を設置してください。また、すぐ近づけるだけのスペースを開けてください。

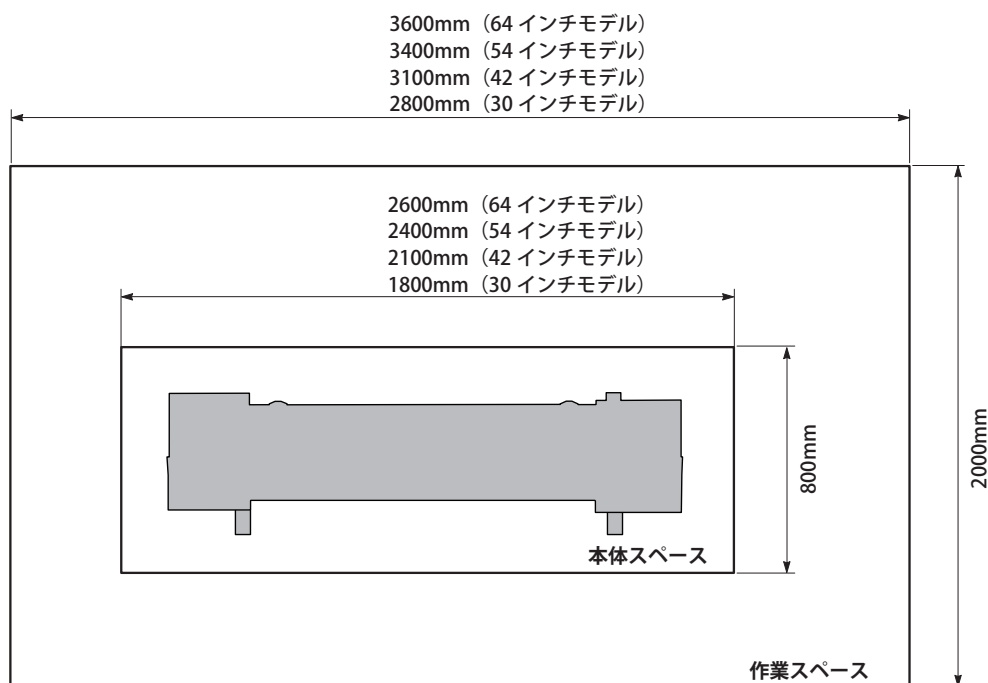
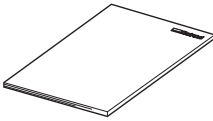
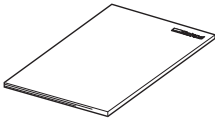
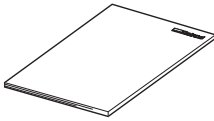
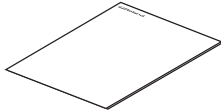
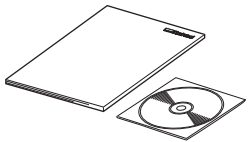
⚠注意 **作業場所は換気する。**
換気しないと、インクの臭いで健康を害したり、引火したりする恐れがあります。

設置に適さない場所
○ 温度・湿度の変化が大きい場所
○ 揺れや振動のある場所
○ 床が傾いていたり、平らでなかったり、不安定だったりする場所
○ ほこりや塵の多い場所
○ 直射日光が当たる場所
○ 冷暖房器具が近くにある場所
○ 水などがかかったり、風が当たったりする場所
○ 電磁波など、電気的・磁気的なノイズの多い場所

温度と湿度

使っていないときでも、決まった温度と湿度を守ってください。守られない場合、本機の故障の原因になります。

動作時 : 温度 20 ～ 32℃、湿度 35 ～ 80%（ただし結露のないこと）
非動作時 : 温度 5 ～ 40℃、湿度 20 ～ 80%（ただし結露のないこと）

設置スペース

本機をお使いいただくには、図のスペースが必要です。

2. 付属品

本機には次のものが付属しています。すべてそろっているかご確認ください。

* メディアクランプとミドルピンチローラは、本体に取り付けられています。

**64 インチモデルは（6）、54 インチモデルは（5）、42 インチモデルは（3）、30 インチモデルは（2）。

ソフトウェア RIP（1）	ユーザーズマニュアル（1）	セットアップガイド（本書）（1）	特色インクガイド（1）
カートリッジスロット用ラベル（1）	洗浄液（1）	クリーニングスティック	インクジェットプリンターメンテナンスガイド（1）
Roland OnSupport インストールガイド / インストール ディスク（各 1）			

3. 組み立てと設置

Step 1：スタンドの組み立て～本体の取り付け

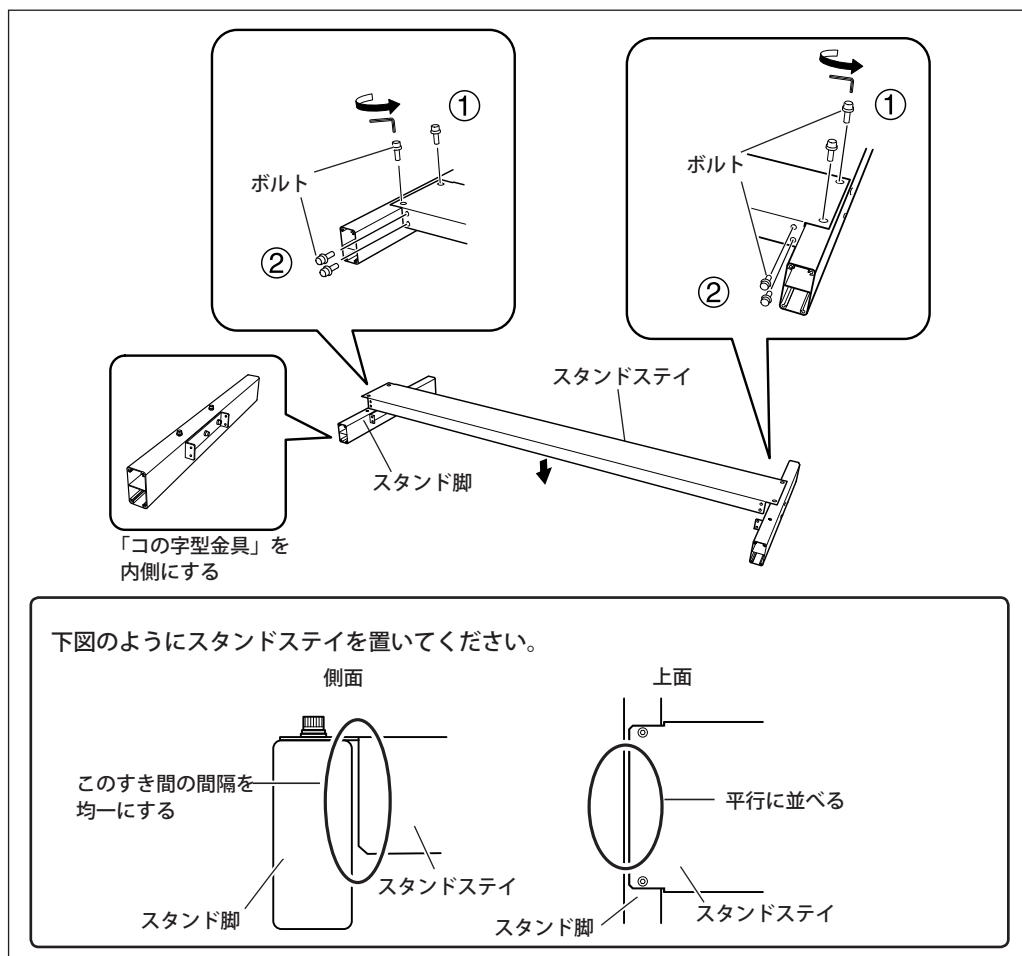
⚠**警告** **この作業は、すべての電源スイッチをオフにしたままで行うこと。**
機械が突然動き、けがをすることがあります。

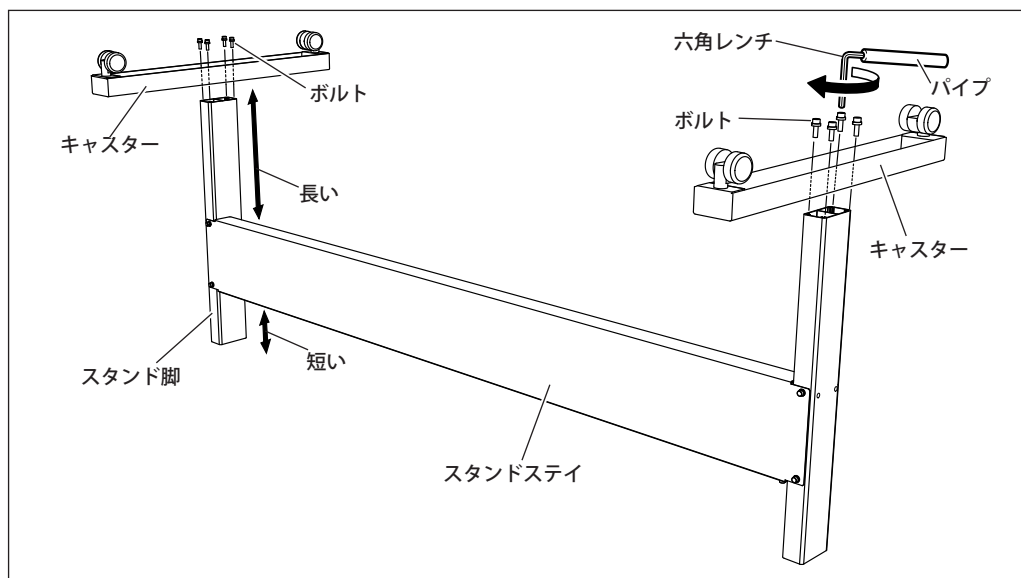
⚠**注意** **設置作業は 6 人 (30 インチモデルは 4 人) 以上で行う。**
本体が落下するなどしてけがをすることがあります。

手順

1 **スタンド脚にスタンドステイを取り付ける。**

スタンド脚の「コの字型金具」を内側にして、次の順番でボルトをしっかりと締め付けて固定してください（計 8 箇所）。ボルトの緩みはスタンド揺れの原因になります。

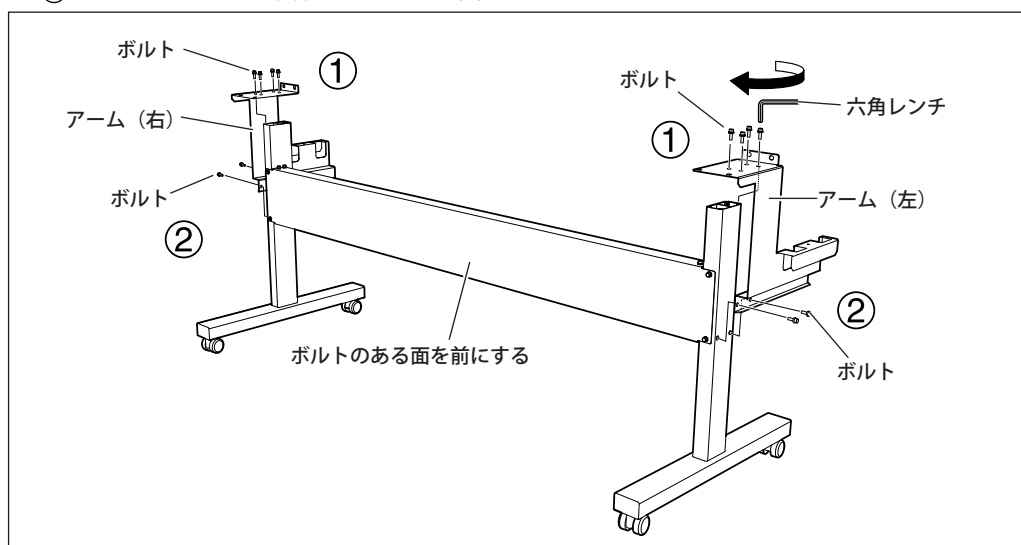
① 上側 2 箇所を仮止めする。（左右計 4 箇所）
② 側面 2 箇所を仮止めする。（左右計 4 箇所）
③ 上側 2 箇所を本締めする。（左右計 4 箇所）
④ 側面 2 箇所を本締めする。（左右計 4 箇所）

2 スタンド脚にキャスターを取り付ける。

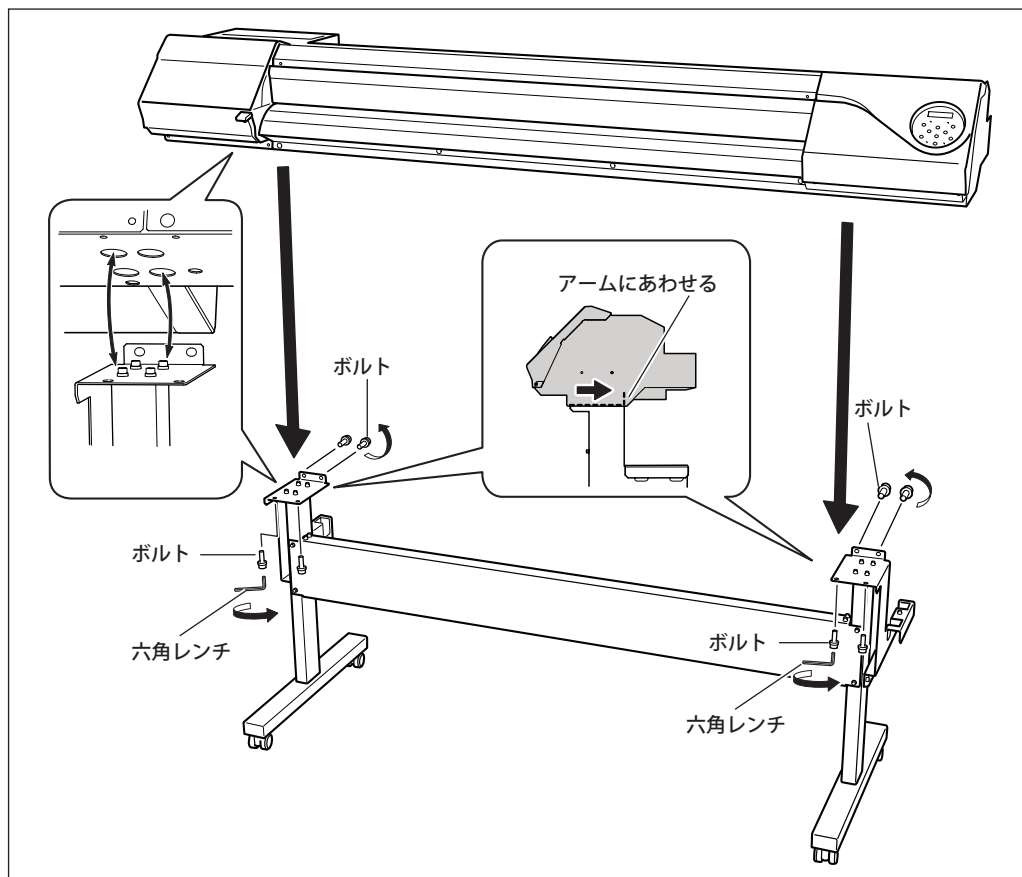
キャスターは、スタンドステイからの距離が長い方に取り付けてください。キャスターに前後の向きはありません。ボルトはしっかりと締め付けてください（計 8 箇所）。ボルトの緩みはスタンド揺れの原因になります。

3 スタンドにアームを取り付ける。

スタンドを起こし、次の順番でボルトをしっかりと締め付けて固定してください（左右計 12 箇所）。ボルトの緩みはスタンド揺れの原因になります。

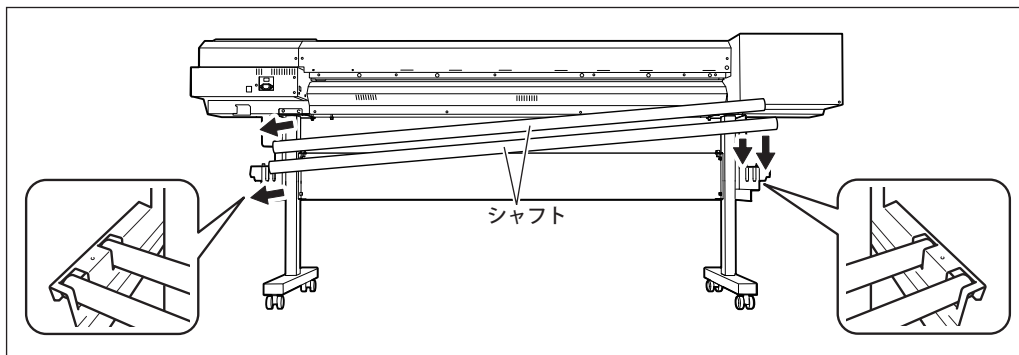
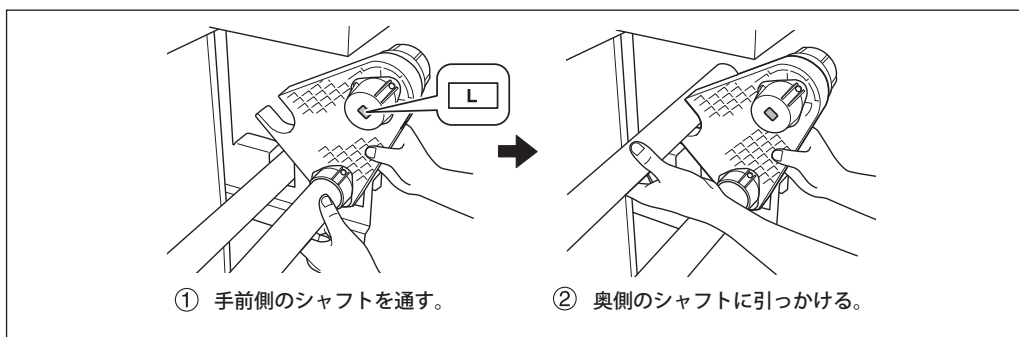
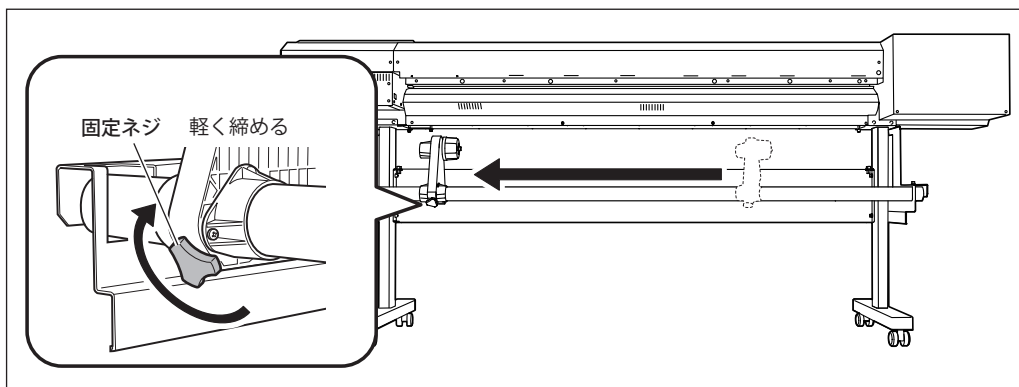
① 上側 4 箇所を仮止めする。（左右計 8 箇所）

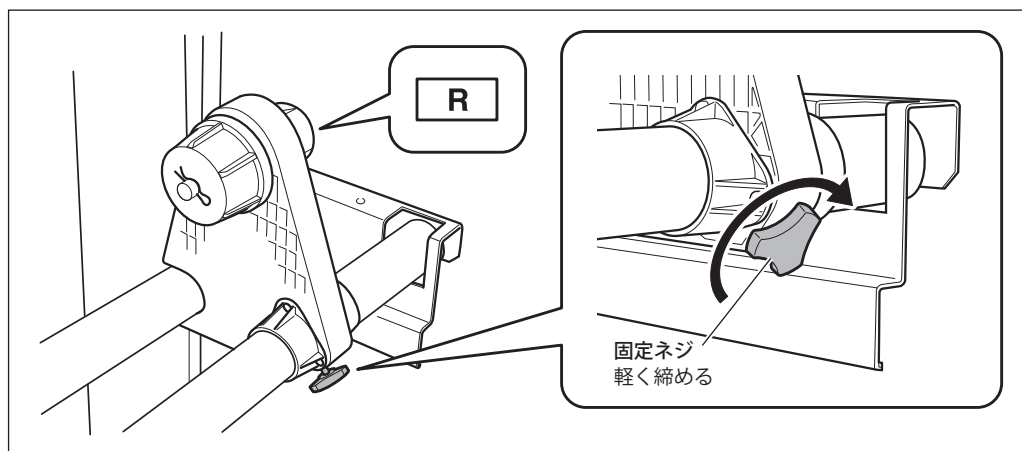
② 側面 2 箇所を仮止めする。（左右計 4 箇所）

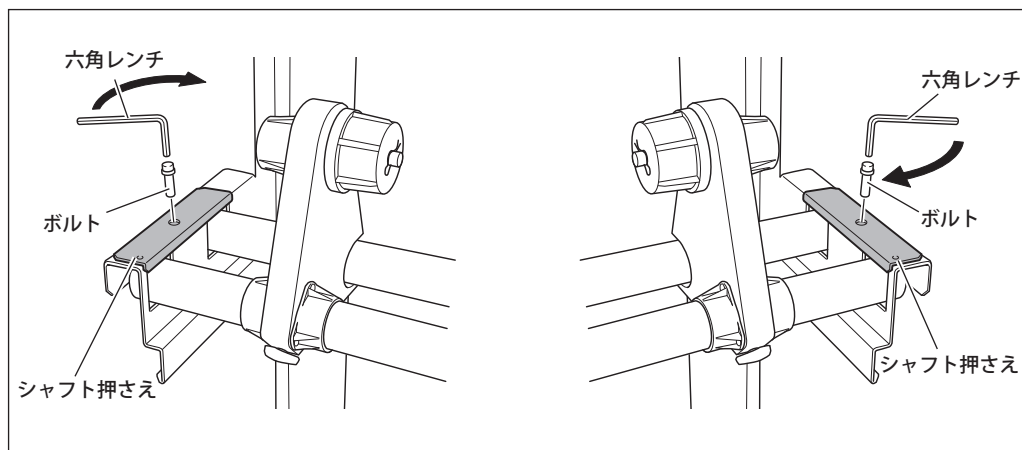
③ すべてのボルトを本締めし、完全に固定する。

4 **本体をスタンドに載せる。**

アームの突起部に本体底面にある穴を合わせてください。ボルトはしっかりと締め付けてください（計 8 箇所）。ボルトの緩みはスタンド揺れの原因になります。

Step 2：メディアホルダーの取り付け

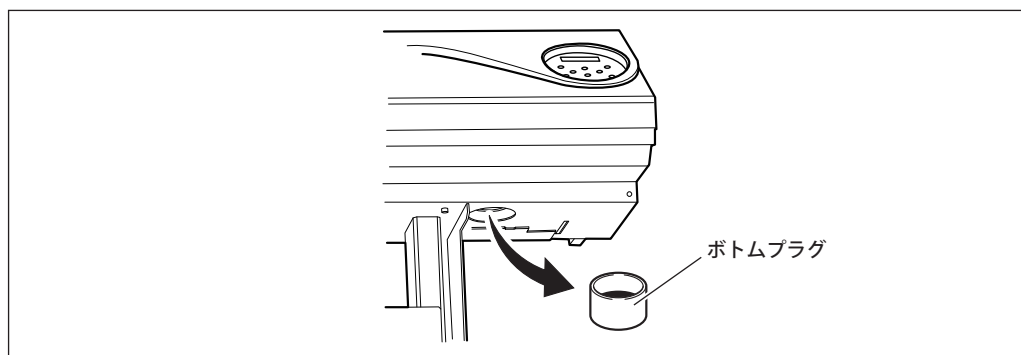
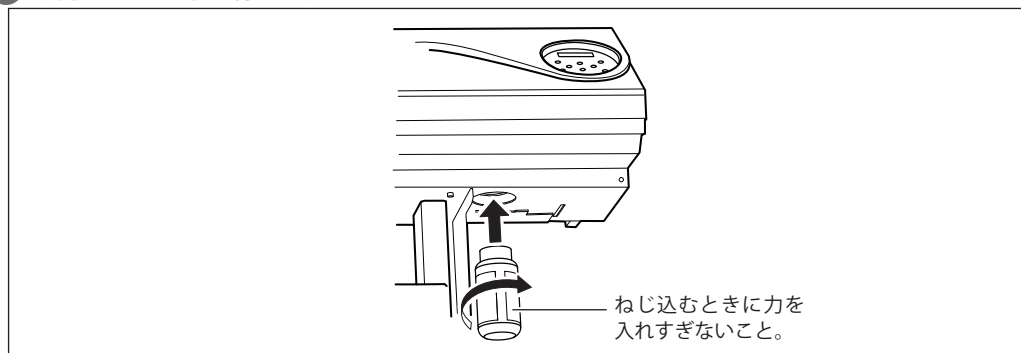
手順

❶ スタンドにシャフトを置く。

❷ メディアホルダー（左）をシャフトに通す。
本体背面から見て右側から通します。

❸ メディアホルダー（左）をシャフトの左側に移動し、固定ネジを取り付ける。
固定ネジは軽く締め付ける程度で十分です。

4 同様にしてメディアホルダー（右）をシャフトに通し、固定ネジを取り付ける。

固定ネジは軽く締め付ける程度で十分です。

5 シャフト押さえを取り付け、シャフトを固定する。

メディアホルダーをシャフト押さえで挟み込まないように、メディアホルダーは端に寄せすぎないようにしてください。

Step 3：廃液ボトルの取り付け

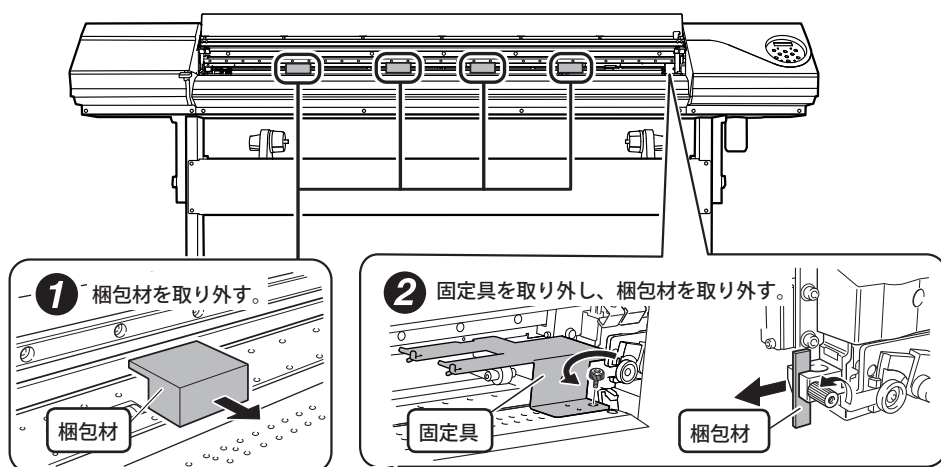
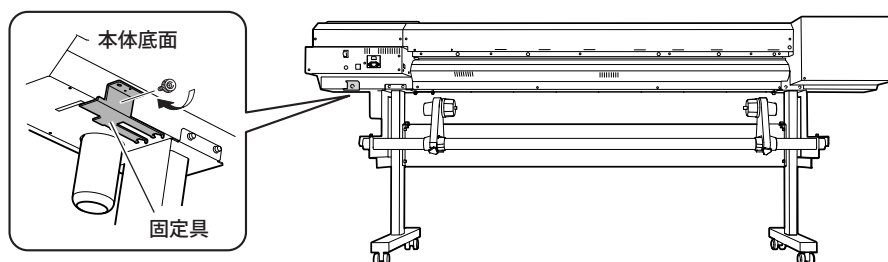
手順

❶ ボトムプラグを取り外す。
出荷検査時 の廃液が残っていることがあります。ご注意ください。

❷ 廃液ボトルを取り付ける。

廃液ボトルはむやみに取り外さないでください。

廃液ボトルは、たまった廃液を処分するとき以外は取り外さないでください。

Step 4：梱包材の取り外し

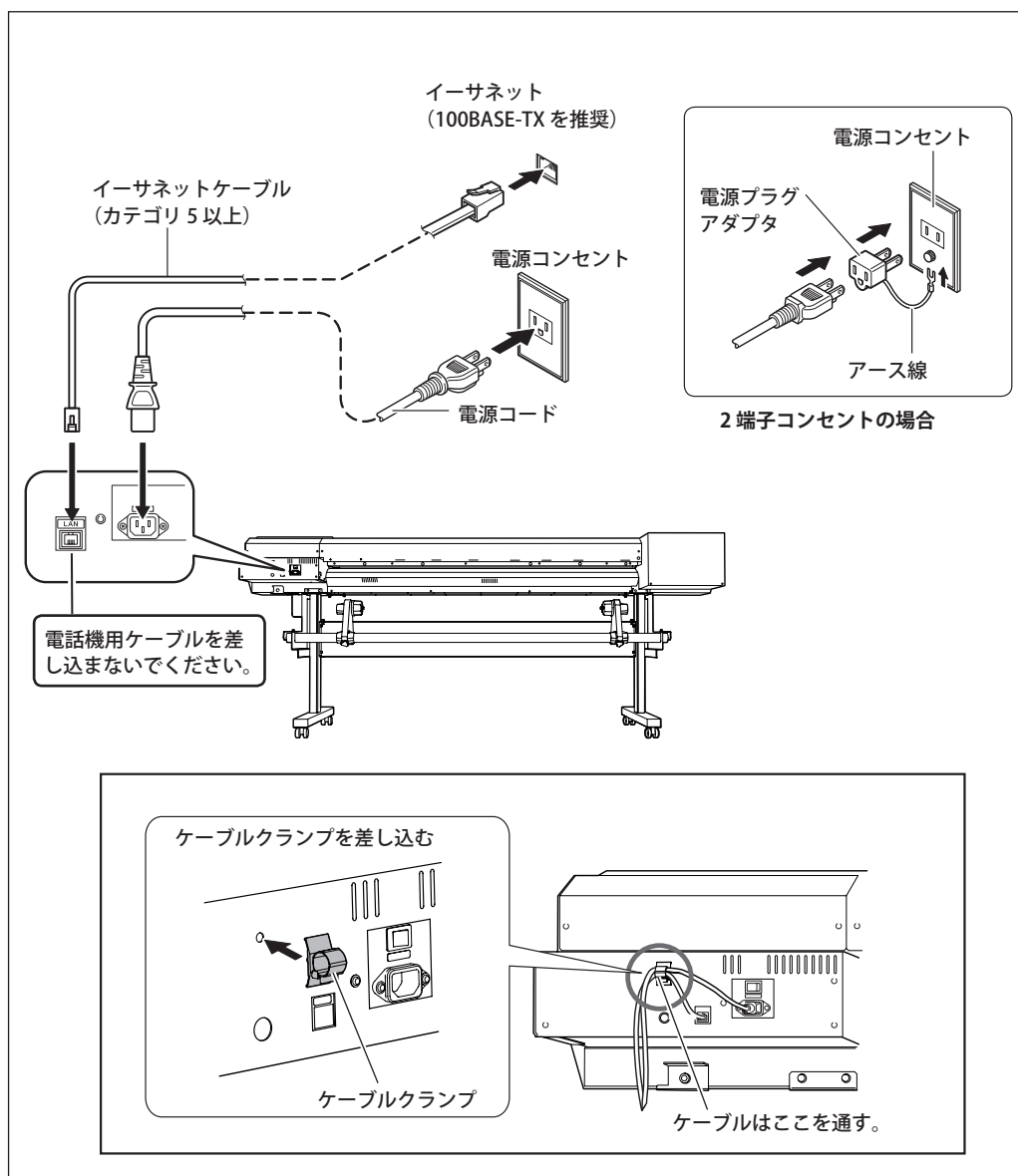
本機には、輸送の際の振動から守るために梱包材を取り付けてあります。設置が済んだらこれらを取り外してください。

○ 梱包材は残さずに取り外してください。残したまま電源をオンにすると、誤動作や故障の原因になります。
○ 梱包材は移設などのために輸送するときに必要になりますので、なくさないよう保管してください。

4. ケーブルの接続

ケーブルの接続

⚠警告 **本機の定格（電圧、周波数、電流）に適合するコンセントに接続する。**
電圧が違ったり、電流に余裕がないと、火災や感電につながります。

⚠警告 **アースに接続する。**
万一の故障で漏電したときに、火災や感電にいたるのを防ぎます。

⚠警告 **この作業は、すべての電源スイッチをオフにしたままで行うこと。**
機械が突然動き、けがをすることがあります。

5. インクカートリッジの取り付け

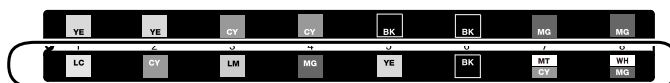
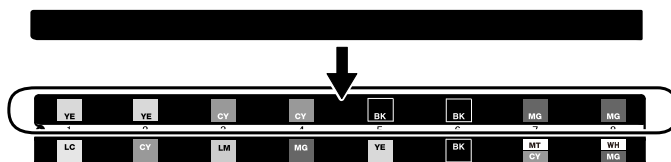
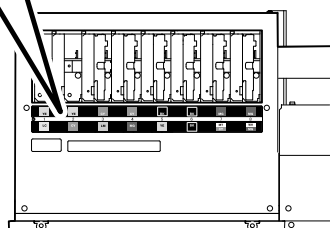
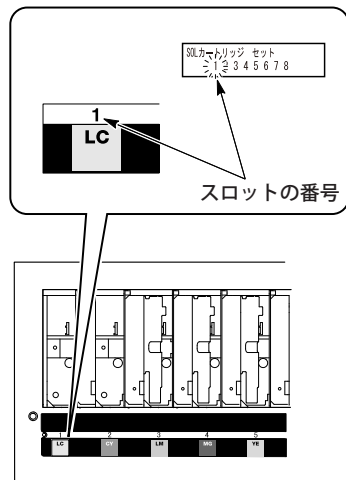
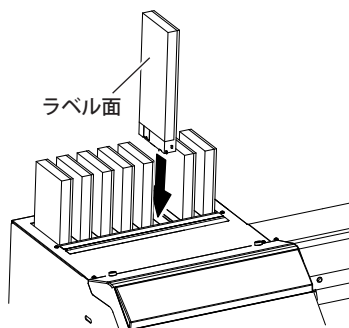
はじめてのインク充てん

はじめてインクカートリッジを取り付けるには、特別な作業が必要です。これが必要なのは、出荷後はじめてインクカートリッジを取り付けるとき 1 回だけです。はじめに洗浄液でプリントヘッドを洗浄し、次に各色のインクを充てんします。この作業には SOL INK 洗浄カートリッジ 2 本、ダミーカートリッジ 6 本が必要です。

※ SOL INK 洗浄カートリッジ、及びインクカートリッジは必ず新品をお使いください。

※ 指定の種類でないインクや洗浄液は絶対に使わないでください。

ラベルの貼り付け

使用するインクタイプに合わせて、カートリッジスロット用ラベルを図の場所へ貼り付けてください。使用しない色の名称が隠れるようにします。

インクカートリッジの取り付け方

洗浄中は、何度かカートリッジを差したり抜いたりします。どれをいつ抜き差しするかは、画面に表示されます。なお、SOL INK 洗浄カートリッジに色の区別はありません。

IMPORTANT!

各色のインクカートリッジは、スロットに表示してある色に合わせて差し込んでください。間違ったカートリッジを差しインクの充てんをすると、容易に修復できなくなります。間違ってカートリッジを差してインク充てんを行った場合は、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

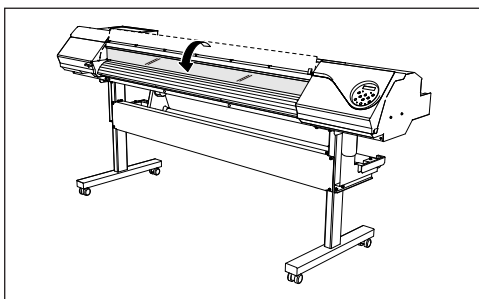
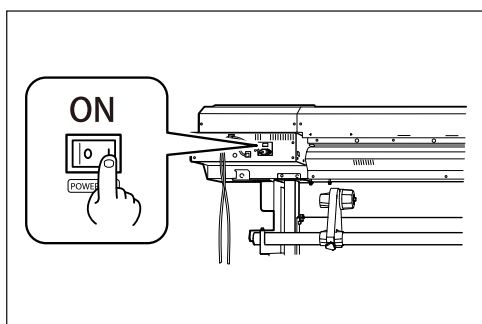
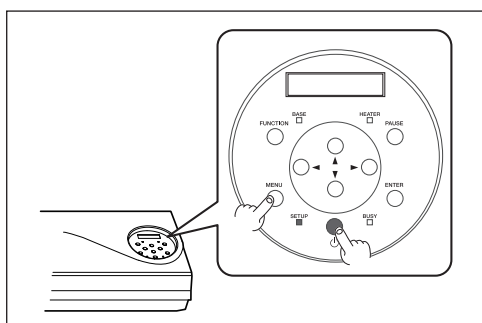
⚠**注意** **フロントカバーのすき間に手を入れない。**
カバーの中ではプリントヘッドが高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

1. 電源をオンにし、初期設定をします。

❶

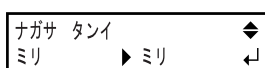
フロントカバーを閉じる。

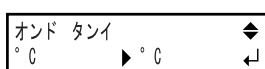
❷ メイン電源スイッチをオンにする。

❸

[MENU] を押し続けながら、サブ電源スイッチを押す。

❹
```
MENU LANGUAGE    ◆
JAPANESE         ↵
```

[▼] で「JAPANESE」を選択する。
[ENTER] を押す。

❺
```
ナガサ タンイ      ◆
ミリ     ▶ミリ     ↵
```

[▲] [▼] で希望の単位（長さ）を選択する。
[ENTER] を押す。

❻
```
オンド タンイ      ◆
°C      ▶°C      ↵
```

[▲] [▼] で希望の単位（温度）を選択する。
[ENTER] を押す。

2. SOL INK 洗浄カートリッジでプリントヘッドを洗浄します。

❶

▲ ▼ でインクタイプを選択する。
ENTER を押す。

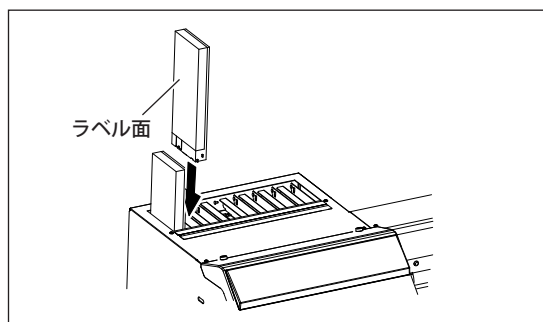
❷ E−SOL Max 4ショク ［ハイ］ イイエ

インクタイプを確認し、◄ ► で［ハイ］を選択する。
ENTER を押す。

❸ ハイエキボトル ヲ セットシテ クダサイ

廃液ボトルの取り付けを確認する。
ENTER を押す。

❹ SOLセンジョウエキ セット 1 2

スロット 1、2 番に洗浄カートリッジを差し込む。
「ピピッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。

数字が点滅しているスロット番号のカートリッジを抜き差ししてください。
この場合は、1、2 番の SOL INK 洗浄カートリッジを抜き取ることを指示しています。

カートリッジを正しく抜き取ると、点滅していた数字が消灯します。

5

①スロット 3、4 番に固定具を差し込む。

②丸い穴の向きに注意し、スロット 3、4 番にダミーカートリッジを差し込む。

ダミーカートリッジは、まっすぐ奥まで差し込んでください。

③ダミーカートリッジが抜けないよう手で押さえながら、固定具を抜く。

同様に①〜③の手順を繰り返し、「5、6 番」、「7、8 番」にもダミーカートリッジを差し込む。

ENTER を押す。

①

固定具

②

ダミーカートリッジ

丸い穴

③

固定具の取り付け方

固定具の突起を、カートリッジスロット内の溝に合わせる

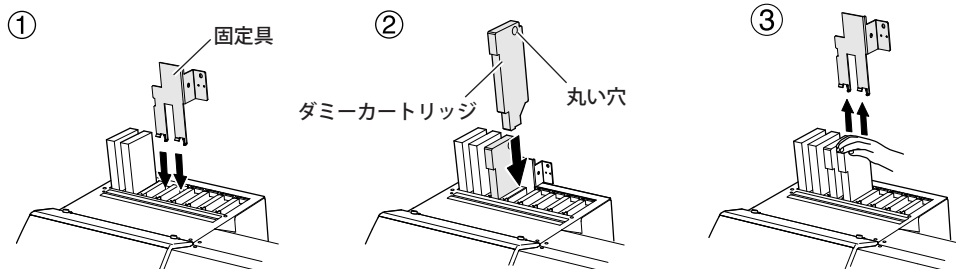
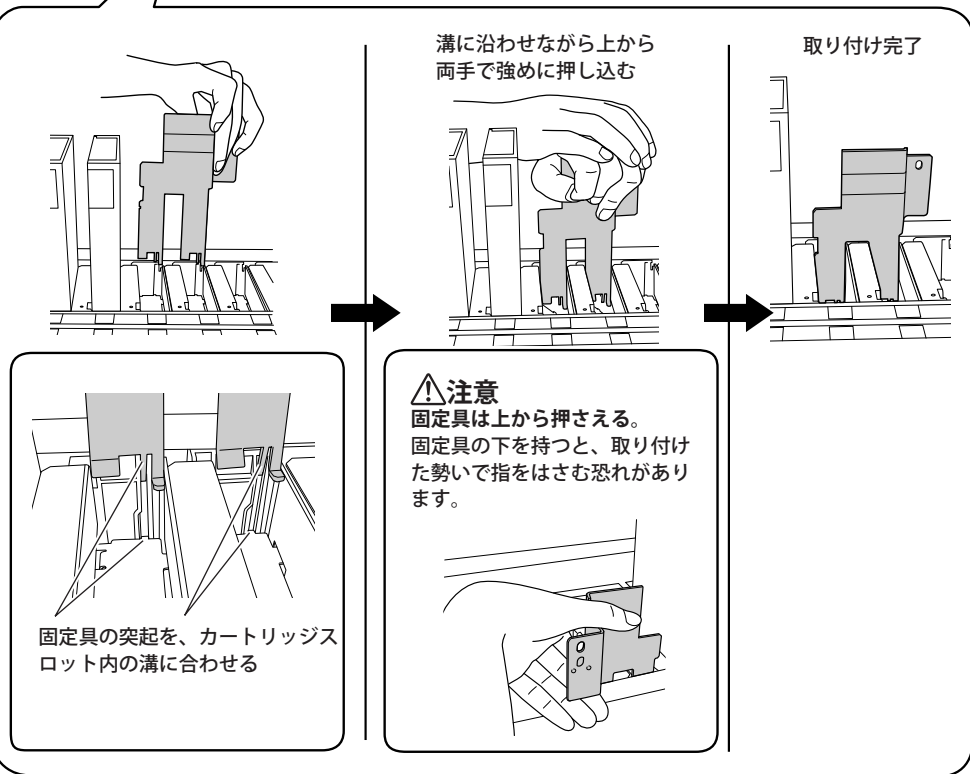
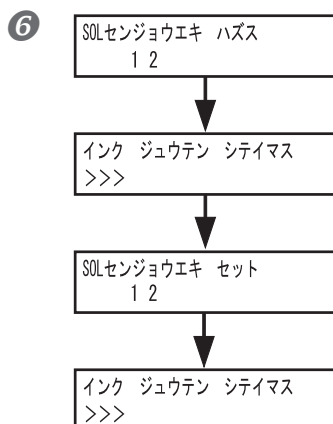
溝に沿わせながら上から両手で強めに押し込む

⚠注意

固定具は上から押さえる。

固定具の下を持つと、取り付けた勢いで指をはさむ恐れがあります。

取り付け完了

❻

①スロット 1、2 番の洗浄カートリッジを抜き取る。

②スロット 1、2 番に洗浄カートリッジを差し込む。

「ピピッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。

画面の指示にしたがって、この作業をもう一度繰り返す。

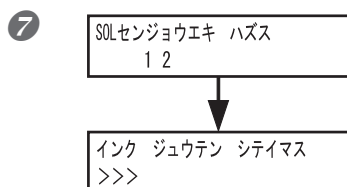
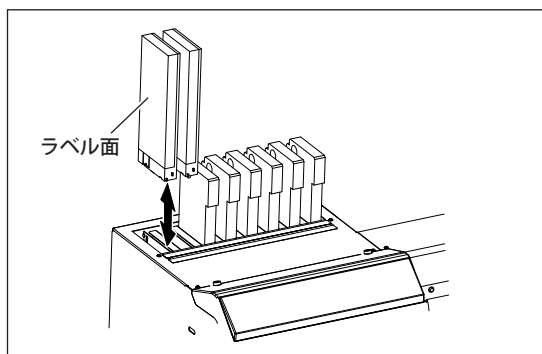
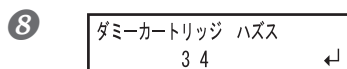
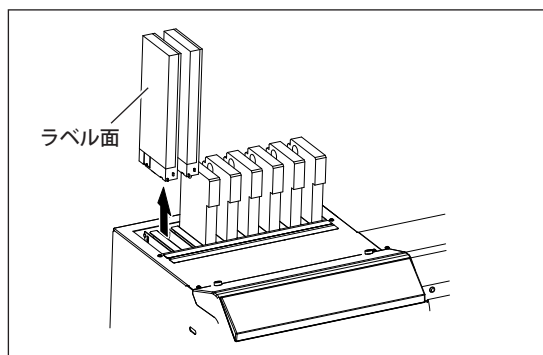
❼

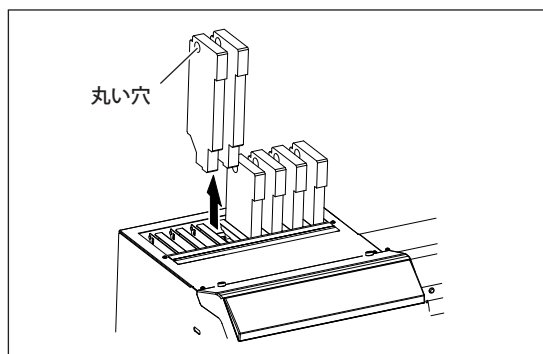
SOLセンジョウエキ ハズス
1 2

↓

インク ジュウテン シテイマス
>>>

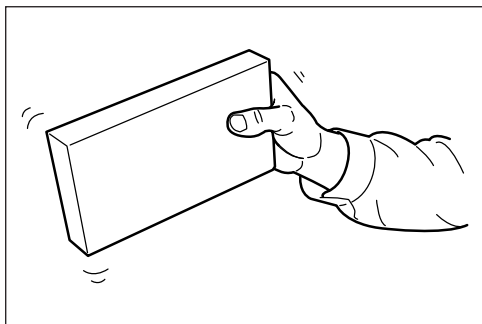
スロット 1、2 番の洗浄カートリッジを抜き取る。

❽

ダミーカートリッジ ハズス
3 4 ↵

スロット 3、4 番のダミーカートリッジを抜き取る。

ENTER を押す。

ダミーカートリッジが抜けにくい場合は、手順 2. - ❺ で使用した固定具をスロットに差し込むと抜けやすくなります。固定具の使い方は手順 2. - ❺ を参照してください。（固定具だけを抜き取るときは、少し前に倒すと抜けやすくなります。）

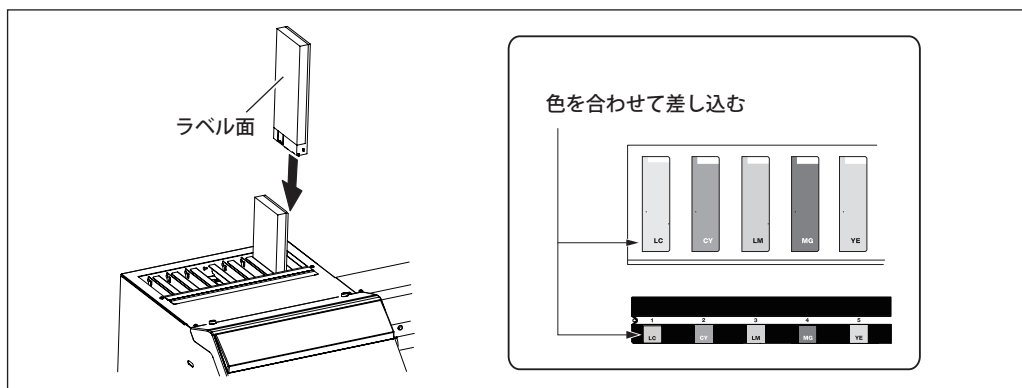
❾ 続けて、「3、4 番」、「5、6 番」、「7、8 番」の順に画面の指示に従ってプリントヘッドの洗浄を行う。
画面に指示されている番号にて SOL INK 洗浄カートリッジとダミーカートリッジの抜き差しを行ってください。スロット番号を間違えると、インク充てんに失敗します。

3. 各色のインクカートリッジを差し込みます。

各色のインクカートリッジを差し込む前に軽く振っておく。

❷

```
SOLカートリッジ　セット
　　　　　　　７８
```

スロット 7、8 番にインクカートリッジを差し込む。

❸

```
ダミーカートリッジ セット
　　１２３４５６　　　↵
```

↓

```
インク　ジュウテン　シテイマス
>>>
```

スロット 1 〜 6 番にダミーカートリッジを差し込む。
2.－❺ と同様の手順で、ダミーカートリッジを抜き取る。
ENTER を押す。

❹

```
ダミーカートリッジ ハズス
　　１２３４５６　　　↵
```

スロット 1 〜 6 番のダミーカートリッジを抜き取る。
ENTER を押す。
ダミーカートリッジが抜けにくい場合は、手順 *2.*－❺ で使用した固定具をスロットに差し込むと抜けやすくなります。固定具の使い方は手順 *2.*－❺ を参照してください。（固定具だけを抜き取るときは、少し前に倒すと抜けやすくなります。）

❺

```
SOLカートリッジ セット
    1 2 3 4 5 6 7 8
```
↓
```
インク ジュウテン シテイマス
>>>>>>>>>>>>>>
```

各色のインクカートリッジを差し込む。

❻

```
ハイエキ ヲ ステテクダサイ
                        ↵
```
↓
```
インク ジュウテン シテイマス
>>>>>>>>>>>>>>
```

廃液ボトルの廃液を捨てる。

必ず捨ててください。この段階で捨てないと、廃液が溢れます。

廃液ボトルを取り付け ENTER **を押す。**

4. ヘッドのクリーニングを行う。

> **IMPORTANT!**
>
> この作業は５分ほどかかります。その間機体のそばから離れず、画面の表示に従って作業を完了してください。作業を完了せず放置すると、ヘッドが破損し使用できなくなる恐れがあります。

❶

```
バルブ ヲ シメテクダサイ
```

下図の場所にある穴に付属の六角レンチをさし、矢印の方向に回す。

バルブが閉じます。

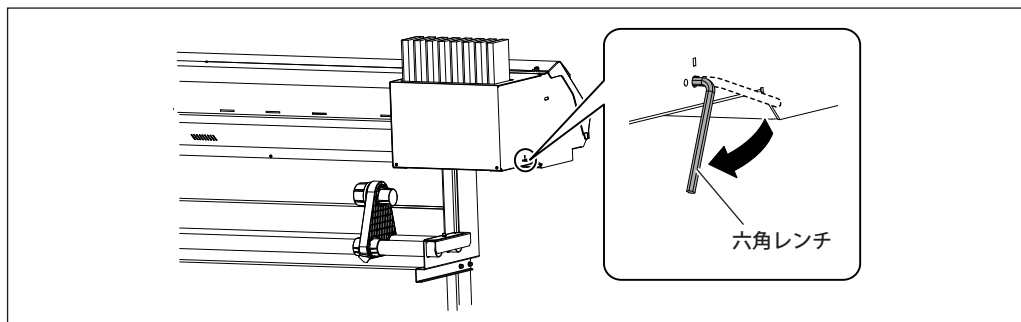
```
シバラク オマチクダサイ. .
```

次の指示があるまで少しお待ちください。

❷

バルブ ヲ アケテクダサイ

左の画面が表示されたら、下図の矢印の方向に六角レンチを回す。

バルブが開きます。
左の画面が表示されても機体内部でクリーニングは続きますが、すぐにバルブを開けてください。開けずに放置すると、ヘッドが破損する恐れがあります。

シバラク オマチクダサイ. .

次の指示があるまで少しお待ちください。

❸ **画面の指示に従って手順 ❶、❷ を繰り返す。**

❹

廃液ボトルが廃液であふれていないことを確認し、ENTER を押す。

図の画面が表示されたら、インクの充てんは完了です。

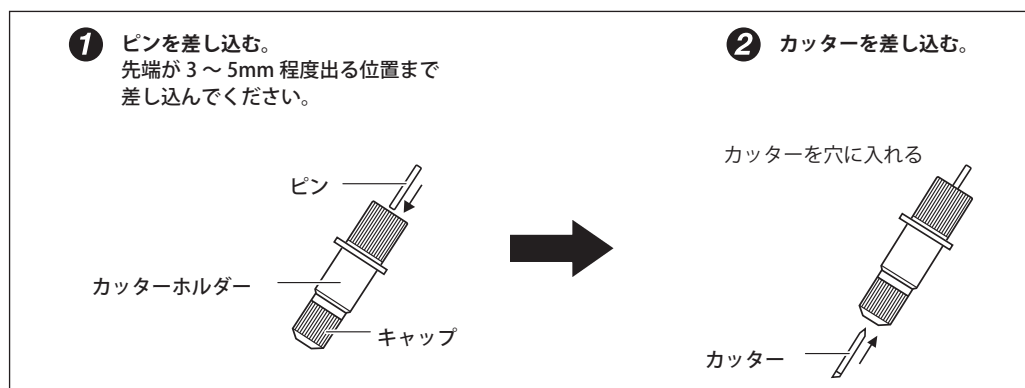
手順通りに作業しなかった場合、下の画面が表示されます。
この画面が表示されたら廃液ボトルが廃液であふれていないことを確認して ENTER を押し、画面の指示に沿って作業を進めてください。

ハイエキボトル ヲ
カクニンシテ クダサイ ↵

6. カッターの取り付け

⚠注意 **必ずこの手順通りに作業し、指示以外の場所にはさわらない。**
機械が突然動き、けがをすることがあります。

⚠注意 **カッターの刃先にさわらない。**
けがをすることがあります。またカッターの切れ具合が悪くなります。

1. カッターホルダーにカッターを取り付ける。

2. カッター交換メニューに入る。

❶ [MENU] を押す。

❷
メニュー ◀⬍
サブメニュー ▶

[▼] を何度か押して、左図を表示する。
[►] [▲] の順に押す。

❸
サブメニュー ◀⬍
メンテナンス ▶

[►] を押す。
[▲] を 2 度押す。

❹
メンテナンス ◀⬍
カッター　コウカン ↵

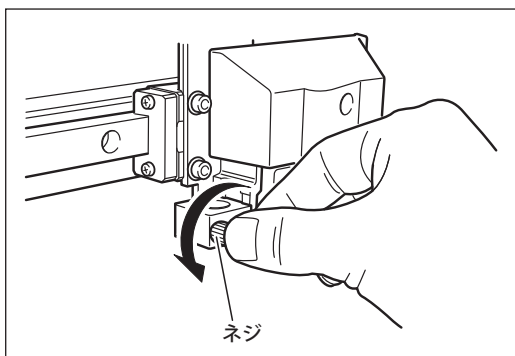
[ENTER] を押す。

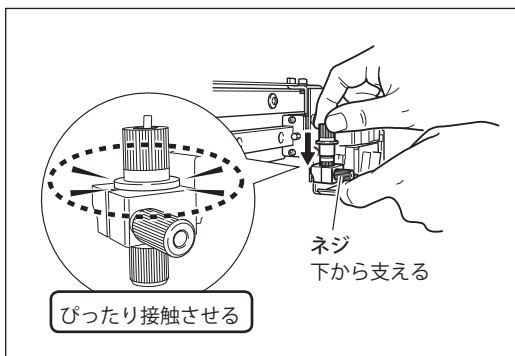
フロントカバーを開く。
カッティングキャリッジがカッター交換可能な位置まで移動後、左の画面が表示されます。

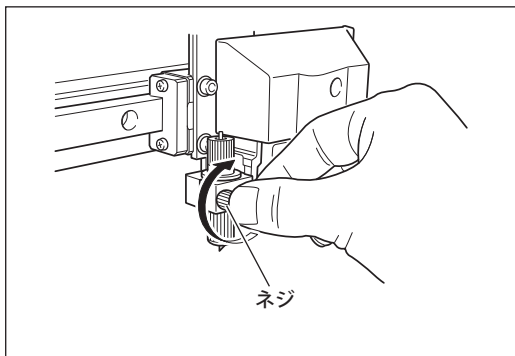
❺
シュウリョウゴ　ENTER
キー　ヲ　オシテクダサイ ↵

この画面になったら準備完了。

3. カッターホルダーを取り付ける。

❶

カッティングキャリッジのネジをゆるめる。

❷

ネジを支えながらカッターホルダーを差し込む。
下から支えずに取り付けると、カット品質が悪くなることがあります。

❸

ネジをしっかりと締める。
上に引っぱり抜けないことを確認してください。

❹

```
シュウリョウゴ　ENTER
　キー　ヲ　オシテクダサイ　↵
```

フロントカバーを閉じ、ENTERを押す。

カッティングキャリッジの取扱いについてのお願い

カッターホルダーを取り付けていないときは、カッティングキャリッジのネジは軽く締めておいてください。ネジを強く締めて放置すると、カッターホルダーを差し込む穴が徐々に狭くなり、取り付けにくくなります。

7. ネットワークの設定

はじめに

本機にはネットワークインターフェイスとしてプリントサーバが内蔵されています。プリントサーバを利用してネットワーク上のどこからでも本機に出力データを送ることができます。プロトコルは TCP/IP を用います。本機がイーサネットケーブルによってネットワークに接続されていることを確認してください。

本機側のネットワーク設定は操作パネルから手動で行う必要があります。設定方法については本章の「STEP2：プリンタのネットワーク設定を行う」を参照してください。

また、本機から印刷するには、同梱のソフトウェア RIP が使用するコンピュータにインストールされている必要があります。インストール方法についてはソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。

ご注意

ここでは、コンピュータと本機を 1 対 1 で使用する場合を例に設定手順を説明します。ここでの手順と設定値がすべての環境に適合するわけではありません。
使用するコンピュータが複数のネットワーク機器やインターネットに接続されている環境では、不適切な設定はネットワーク全体に重大な影響を及ぼします。各設定の詳細はネットワーク管理者に相談してください。

Step 1：コンピュータのネットワーク設定を行う

手順

❶ 「管理者」または「Administrators」グループのメンバーとして Windows にログオンする。

❷ 〔ローカルエリア接続の状態〕ダイアログを表示させる。

Windows 7：
〔スタート〕-〔コントロールパネル〕をクリックする。
〔ネットワークとインターネット〕をクリックし、〔ネットワークと共有センター〕をクリックする。
〔ローカルエリア接続〕をクリックする。

Windows Vista：
〔スタート〕-〔コントロールパネル〕をクリックする。
〔ネットワークとインターネット〕をクリックし、〔ネットワークと共有センター〕をクリックする。
〔状態の表示〕をクリックする。

Windows XP：
〔スタート〕-〔コントロールパネル〕をクリックする。〔ネットワークとインターネット接続〕をクリックし、〔ネットワーク接続〕をクリックする。
〔ローカルエリア接続〕アイコンをダブルクリックする。

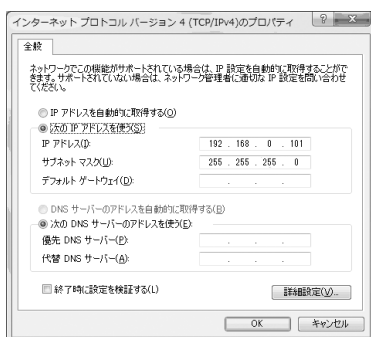
Windows 2000：
〔スタート〕-〔設定〕-〔ネットワークとダイヤルアップ接続〕をクリックする。
〔ローカルエリア接続〕アイコンをダブルクリックする。

❸

〔プロパティ〕をクリックする。
Windows Vista の場合は〔ユーザーアカウント制御〕ダイアログが表示されたら〔続行〕をクリックする。
〔ローカル エリア接続のプロパティ〕が表示されます。

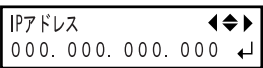
❹

〔インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）〕（Windows 7/Windows Vista）、または〔インターネットプロトコル（TCP/IP）〕（Windows XP/2000）を選択し、〔プロパティ〕をクリックする。
〔インターネットプロトコル〕のチェックボックスがオフだった場合は、クリックしてオンにしてください。

❺

〔次の IP アドレスを使う〕を選択する。次のように入力し、〔OK〕をクリックする。
〔IP アドレス〕：192.168.0.XXX
〔サブネットマスク〕：255.255.255.0
「XXX」は 1 ～ 254 の任意の番号です。ただし、他のパソコンや機器と重複しない番号にしてください。ここでは例として IP アドレスには［192.168.0.101］、サブネットマスクには［255.255.255.0］と入力します。

❻ **〔ローカル エリア接続のプロパティ〕の〔OK〕をクリックし、〔ローカルエリア接続の状態〕の〔閉じる〕をクリックする。**

Step 2：プリンタのネットワーク設定を行う

ご注意

記載されているアドレスは設定の一例です。各設定値の詳細はネットワーク管理者に相談してください。

1. IP アドレスを設定します。

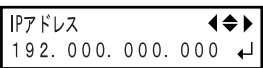
❶ MENU を押す。

❷
メニュー
システム　ジョウホウ

▼ を何度か押して、左図を表示させる。
► ▲ の順に押す。

❸
システム　ジョウホウ
ネットワーク

► を 3 度押す。

❹
IPアドレス
000. 000. 000. 000

〔IP アドレス〕：192.168.000.XXX
「XXX」は 2 ～ 254 の任意の番号です。ただし、Step 1 での設定と重複しない番号にしてください。ここでは例として［192.168.000.003］と入力します。
［192.168.000］の部分はコンピュータの設定と同じにしてください。

❺
IPアドレス
192. 000. 000. 000

▲ ▼ を押して、アドレス番号を選択する。

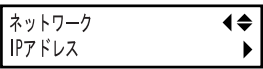
❻
IPアドレス
192. 000. 000. 000

► を押す。

❼ ❺、❻ を繰り返して IP アドレスを設定。

❽
IPアドレス
192. 168. 000. 003

設定が終わったら ENTER を押す。
◄ を押す。

ネットワーク
IPアドレス

図の画面に戻ります。

2. サブネットマスクを設定します。

❶
ネットワーク
IPアドレス

▼ を押す。

❷
ネットワーク
サブネットマスク

► を 2 度押す。

❸

サブネットマスク ◀◆▶
000. 000. 000. 000 ↵

▲ ▼ を押して、アドレス番号を選択する。
〔サブネットマスク〕: 255.255.255.000
サブネットマスクはコンピュータと同じ値を設定します。ここでは例として［255.255.255.000］と入力します。

❹

サブネットマスク ◀◆▶
255. 000. 000. 000 ↵

▶ を押す。

❺ ❸、❹ を繰り返してサブネットマスクを設定。

❻

サブネットマスク ◀◆▶
255. 255. 255. 000 ↵

設定が終わったら ENTER を押す。
MENU を押す。

❼

W 736 mm
シート ノ センタク
◀▶ロール

◀ でもとの画面に戻る。

コンピュータと本機を 1 対 1 で使用する場合は、プリンタ側の設定はこれで終了です。STEP3 に進んでください。
ゲートウェイアドレスを設定する必要のある場合は次の手順に進んでください。

3. ゲートウェイアドレスを設定します。

❶

ネットワーク ◀◆
IPアドレス ▶

1. – ❽, の画面から ▼ を 2 度押す。

❷

ネットワーク ◀◆
ゲートウェイ アドレス ▶

▶ を 2 度押す。

❸

ゲートウェイ アドレス ◀◆▶
000. 000. 000. 000 ↵

▲ ▼ を押して、アドレス番号を選択する。
〔ゲートウェイ　アドレス〕: 255.255.255.255
ゲートウェイアドレスにどのような値を入力するかはネットワーク管理者に相談してください。ここでは例として［255.255.255.255］と入力します。

❹

ゲートウェイ アドレス ◀◆▶
255. 000. 000. 000 ↵

▶ を押す。

❺ ❸、❹ を繰り返してゲートウェイアドレスを設定。

❻

ゲートウェイ アドレス ◀◆▶
255. 255. 255. 255 ↵

設定が終わったら ENTER を押す。
MENU を押す。

❼

W 736 mm
シート ノ センタク
◀▶ロール

◀ でもとの画面に戻る。

Step 3：ソフトウェア RIP のポートを設定する

ここでは、ソフトウェア RIP の出力先を設定します。出力先には、プリンタ側で設定した IP アドレスを設定します。設定手順については、ソフトウェア RIP の説明書を参照してください。

ネットワーク接続が完了したかどうかは、ソフトウェア RIP のテストプリント機能で確認できます。テストプリントの実行方法についてはソフトウェア RIP の取扱説明書を参照してください。

8. 長期間使用しないときは

継続的なメンテナンスを

1 ヶ月に 1 度は電源をオンにする

月に 1 度はサブ電源をオンにしてください。電源が入ると、プリントヘッドの乾燥を防ぐ動作などを自動で行います。長期間放置するとプリントヘッドが壊れることがありますので、必ず実施してください。

温度と湿度を一定に保つ

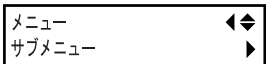
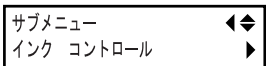
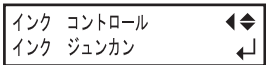
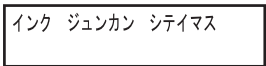
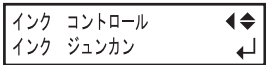
使っていないときでも、温度 5 ～ 40℃、湿度 20 ～ 80%（ただし結露のないこと）を保ってください。高温になりすぎると、インクが変質して故障の原因となります。低温になりすぎると、インクが凍ってヘッドを破損する原因となります。

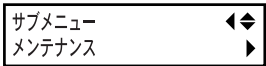
アラーム機能

```
POWERキー ヲ オシテクダサイ
クリーニング ヲ シマス      ↵
```

およそ 1 ヶ月使用しない状態が続くと、この画面を表示してブザーを鳴らします。この画面が出たら、サブ電源をオンにします。保守動作が完了したら、サブ電源をオフにしてください。
この機能は、プリンタのメイン電源がオンのときに働きます。長期間使用していないときでも、プリンタのメイン電源だけはオンにしておくことをお勧めします。

9. 移送するときは

移送準備から再設置までの作業

本機を移送するには、プリントヘッドを保護するために固定具で固定する必要があります。また、インクタイプが WMT モードの場合は、手動で循環を行う必要があります。そのまま移送すると、インクが漏れて内部の機器を痛めたり、ヘッドを壊す原因になりますのでご注意ください。

移送作業のご注意

○準備ができたら速やかに移送し、移送後すぐに電源を入れてください。電源を入れずに放置すると、沈殿したインクが固まり、プリントヘッドが目詰まりするなどの故障につながります。
○移送時は、温度 5 ～ 40℃、湿度 20 ～ 80%（ただし結露のないこと）を保ってください。故障の原因になります。
○衝撃を与えたり、傾けたりしないよう、慎重に移送してください。

1. 手動でインクの循環を行う。(WMT モードのみ)

CMYK モード、CMYKLcLm モードの場合は、手順 2. から始めてください。

❶ MENU を押す。

❷
```
メニュー        ◀⬍
サブメニュー       ▶
```
▼ を何度か押して、左図を表示する。
► を押す。

❸
```
サブメニュー      ◀⬍
インク コントロール   ▶
```
▲ を何度か押して、左図を表示する。
► ▼ の順に押す。

❹
```
インク コントロール   ◀⬍
インク ジュンカン    ↵
```
ENTER を押す。

❺
```
インク ジュンカン シテイマス
```
循環が始まります。

❻
```
インク コントロール   ◀⬍
インク ジュンカン    ↵
```
この画面になったら、作業は終了。

2. 廃液を捨てる。

❶ MENU を押す。

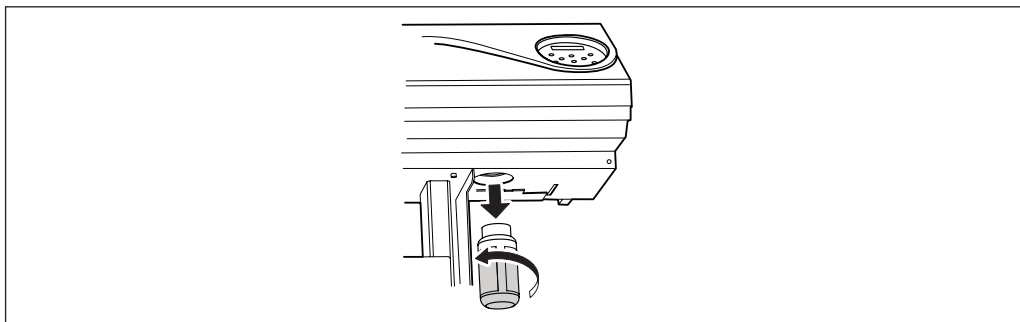
❷
```
メニュー        ◀⬍
サブメニュー       ▶
```
▼ を何度か押して、左図を表示する。
► ▲ の順に押す。

❸
```
サブメニュー      ◀⬍
メンテナンス       ▶
```
► ▲ の順に押す。

❹ メンテナンス / ハイエキ　ボトル

ENTER を押す。

❺ ハイエキ　ヲ　ステテクダサイ

左図が表示されたら、ボトルを取り外して廃液を捨てて空にする。

⚠注意　**画面に［ハイエキ　ヲ　ステテクダサイ］と表示されてから、廃液ボトルを外すこと。**
手順を守らないと、本体から廃液が出てきて廃液が手についたり、こぼれて床を汚したりすることがあります。

❻ ハイエキ　ヲ　ステテクダサイ

空にした廃液ボトルをふたたび本体に取り付ける。
ENTER を押す。

❼ ハイエキ　ノ　カウント　ヲ / リセットシマス

ENTER を押す。

❽ メンテナンス / ハイエキ　ボトル

MENU を押してもとの画面に戻る。

❾ サブ電源スイッチをオフにする。

⚠警告　**廃液やインクを火気の近くに置かない。**
火災の原因になります。

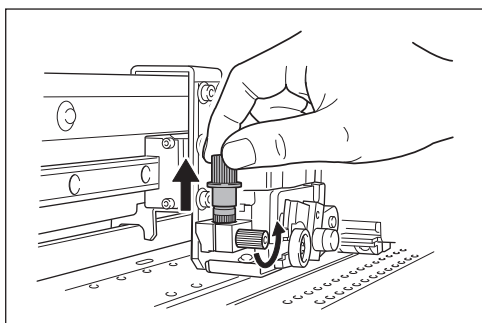
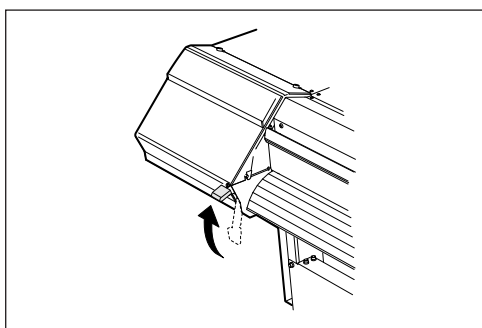
⚠注意　**廃液を一時的に保管するには、付属の廃液ボトル、金属缶やポリタンクなどの丈夫な密閉容器に入れ、フタをきちんと閉じること。**
こぼれたり蒸気がもれたりすると、火災につながったり臭いで気分が悪くなったりすることがあります。

廃液は、地域の条例に従い、適切な方法で処理してください。
廃液には引火性があり、有害な成分も含まれています。廃液を焼却したり、一般のゴミと一緒に廃棄したりしないでください。また、下水や河川に流さないでください。環境に影響を及ぼす恐れがあります。

3. カッターホルダーを取り外す。

❶

カッターホルダーを取り外す。

❷

ローディングレバーを上げる。

4. プリントヘッドを固定する

❶ プリントヘッドを固定具で固定する。
固定方法は「3. 組み立てと設置」の「梱包材の取り外し」を参照してください。

❷ メイン電源スイッチをオフにする。

5. すぐに移送し、電源を入れる。

❶ 準備ができたら、時間を置かずすぐに移送する。

❷ すぐに設置し直し、メイン電源を入れる。
プリントヘッドの故障などを避けるために、なるべく時間をおかずに移送を完了し、移送後はすぐにメイン電源を入れるようにしてください。再設置は、「3. 組み立てと設置」の手順に従ってください。